

# 三瑞だより

令和3年度3月号  
荒川区立第三瑞光小学校  
校長 渡邊 滋  
発行 令和4年 3月1日

## 「ありがとう」の反対語



校長 渡邊 滋

本校の生活指導主任が、6年生の下田移動教室の出発式で児童に向けて話した内容に、児童の毎日の学校生活について、私自身も改めて見つめ直す機会を得ることができました。

\* \* \*

「ありがとう」の反対語を皆さんは知っていますか。それは「あたりまえ」であるそうです。私たちの毎日を「あたりまえ」に思っていないでしょうか。何気ない毎日も、たくさんの人たちに支えられて「あたりまえ」に感じる毎日が存在します。今から出発する下田移動教室も、あらゆる人に支えられて実現します。そういった人々に「ありがとう」の気持ちをもって2日間を過ごして欲しいと思います。

\* \* \*

思えば、この2年間は、新型コロナウイルス感染症により、「あたりまえ」の日常が大きく変わることだけでした。特に学校生活については、制約により、子供たちには申し訳ない思いを立て続けに感じる日々でした。しかしながら、視点を変えることで得たこともたくさんあります。GIGAスクール構想のもと、一人一台タブレットパソコンの活用については、オンライン授業を通じて、飛躍的に実践力が高まりました。もちろん、ご家庭においては、非常に大きなご負担をおかけしたこと、ご協力をいただいたことの上に成り立つ成果であります。また、日々の「あたりまえ」を見直す機会が驚くほどたくさんありました。学校の教育活動では、授業形態の見直しや学校行事の精選、子供たちのためとは言え、膨大に膨れ上がった内容を改めて整理整頓できました。また、保護者の皆様にもご負担軽減を少しでも行えました。欠席連絡方法や写真購入、保護者会配信などでインターネット環境を活用させていただきました。そして、PTAでも「改革」を一層進めていただいたことも得たことの一つです。

ともあれ、子供たちは一生懸命に置かれた環境に順応して、工夫して過ごしたことは、「あたりまえ」ではなく、本当に立派でした。

また、この1年間で大きく支えてくださった保護者の皆様、PTAの皆様、地域の皆様、関係者の皆様にも、心の底から「ありがとう」ございます、とお伝えしたい気持ちでいっぱいです。

本年度も本校へのご理解・ご協力を本当にありがとうございました。



下田移動教室・恵比須島での6年生

3月  
の目標

生活目標……きれいな学校にしよう

保健目標……1年間の健康生活を反省しよう

給食目標……1年間の給食について振り返ろう

